

地域での取り組み

地域で行われた取り組みを紹介するコーナーです。

■新高地域運動会

11月14日(日)新高地域運動会が新高中央公園グラウンドで開催されました。検温、手指消毒の基本に加え、出場順番待ちの間隔をしっかりと空けて並び、拍手で応援の呼びかけなど、コロナ感染予防対策の工夫がしっかりとされていました。地域の皆さんが笑顔で楽しむ姿に、地域行事を大事に継承していく強い想いを感じた一日でした。



■三津屋音楽祭

11月14日(日)に開催された三津屋音楽祭。三津屋商店街を中心に、複数会場で多彩な演奏団体が出演、観客が歩いて楽しめる音楽祭です。11回目の今年は昨年と同じく、必要と思われる対策をすべて行い、駅前広場一カ所での開催に。出演者も来場者も距離を取りながらも、皆さん一体となって音楽を楽しみ、心温まるイベントとなりました。



■かしまちなみスッキリ作戦

11月23日(火・祝)加島地域を挙げての清掃活動『かしまちなみスッキリ作戦』が開催されました。子どもたちは集合時間より早く集合場所に集まり、小学校周辺や加島グラウンドのゴミ拾いに一生懸命。地域の皆さんも町会単位でゴミの多そうな場所を重点的にチェックし、取り組んでいました。タバコの吸い殻や空き缶をはじめ、思った以上に大量のゴミが集まりました。



まちを綺麗にする事で、心も明るくなります

■木川地域百歳体操

緊急事態宣言が明け、木川地域でも百歳体操が再開されました。人との間隔を保つため、毎週金曜日13時30分から2部制での開催。まちセンが訪れたこの日も、1部・2部あわせて30名以上の方が参加していました。少し早めに来て、お隣さんとマスク越しにお話したり、大勢の方が『いきいき教室』の申し込みをする姿も。皆さん活動再開を心待ちにしていたんだな...と、感じました。



木川地域では事業実施時、参加者に他の事業の案内もしています

よどまち未来セッション 「女性のみかた～町会ってなァーに～？」を実施予定

“町会”について皆さんで話してみませんか。町会に入っている人も入っていない人も是非、ご参加ください。
日時：令和4年2月25日(金)19時～ 場所：淀川区役所会議室

淀川区まちづくりセンター

〒532-8501 大阪市淀川区十三東 2-3-3 淀川区役所 4階
TEL 06-6309-5656 FAX06-6309-5657
mail yodogawa-machikyuu@festa.ocn.ne.jp
HP https://yodomachi-new.jimdofree.com/
Facebook https://www.facebook.com/ymachisen

編集後記

明けましておめでとうございます。昨年は、コロナとうまく付き合いながら、少しずつ地域活動が再開されてきたように思います。まだまだ不安はありますが、今年こそは思いっきり地域活動ができるよう、まちづくりセンターでもご支援させていただきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願い致します。(miya)

令和

VOL. 32

2022年1月



淀川まちセン通信は、淀川区の地域活動協議会に関する情報発信、淀川区まちづくりセンターの活動紹介、多様な地域資源の紹介を目的に発行しています。

よどまち未来セッション 『手紙』 未来の自分へ

ほぼ1年半ぶりとなった“よどまち未来セッション”。コロナ禍のなか、オンラインを使ったコミュニケーションが進んできましたが、『手紙』という視点から1年先の自分がどのように地域活動に関わっているか文字にすることで、整理し見つけ直す機会づくりをしたいと思い企画・実施しました。

当日は“おもしろ遊便倶楽部”の田中幹久氏を講師にお招きし、手紙の魅力を語っていただきました。その後、1年後の自分に向けて手紙を書くワークショップをし、まちセンお手製のポストに投入。

相手の顔を思い浮かべ「想いを込めて相手のことを考えながら文字にする」ということがとても大切なのだと改めて感じました。

“便せんを選び”、“筆記用具を選び”、“切手を選び”。そんな一つ一つの過程に相手への想いが込められています。



手紙愛にあふれたおもしろ遊便倶楽部 田中幹久氏

文字を書くことで、自分の内面を見つめる。そんな静かな時間を心地よく感じるワークショップとなりました。



自分に宛てた手紙。1年後、お手元にお届けします。

開催日時：令和3年10月22日(金)
19時～20時30分
開催場所：淀川区役所 501・502 会議室
参加者：淀川在住・在勤者7名
講師：おもしろ遊便倶楽部 田中幹久氏





防災キッズ集まれ!



令和3年11月28日(日)淀川区民センターで十三、神津、新北野3地域の地域活動協議会合同防災イベントが実施されました。これは三菱UFJ銀行十三支店が、近隣子ども達に災害について学ぶ機会を提供し、理解を深めてもらいたいとの思いから提案され、開催されました。

当日は、防災脱出ゲーム、淀川消防署の宮本指令による防災のお話など、楽しみながら防災について学びました。

参加者には三菱UFJ銀行十三支店さんから、参加賞として防災グッズ(エマーゼンシーボトル)が配られました。

地域にある企業と地域が連携して、子ども達が防災を学ぶ機会となりました。



助成金情報



輝け!子どもパフォーマー事業補助金 大阪府

文化を通じた次世代育成を図るため、大阪府内の子どもが参加し発表する活動を実施する団体又は個人に対して補助金を交付する事業です。この事業により、次代を担う子どもたちの活発な文化活動を促進し、子どもたちの成長及び鑑賞した府民への感動の提供を図るとともに、大阪のまちの魅力発信や大阪の活性化をめざしています。

期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日
金額：最大30万円
応募期間：令和3年12月1日～令和4年1月31日
連絡先：https://www.pref.osaka.lg.jp/bunka/news/kodomo_p.html

「令和4年度 大阪市NPO・市民活動 企画助成事業」 生涯学習活動のアイデアに助成します! 大阪市立総合生涯学習センター

Aコース. まちづくり・市民学習応援コース
Bコース. 子育て・家庭教育応援コース
期間：令和4年7月～令和5年1月末まで
金額：対象金額の75%上限20万
応募期間：令和3年12月1日～令和4年1月31日
連絡先：<https://osakademanabu.com/umeda/archives/11448>



MUSUBOU 淀川区 十三周辺 防災まちあるき

2021.9.11

今年度淀川区まちづくりセンターで、大阪市立大学都市防災教育研究センターが実施する『コミュニティ防災人材育成プログラム』の実証実験に参加することになりました。この日は淀川区役所を起点に、能勢街道に沿って歩き、十三バイパスと商店街をぬけて十三公園を經由し、淀川通り沿いに区役所へ戻る防災まちあるき 3kmコースを体験しました。ARアプリで、火災や崩壊リスクハザードマップで示された浸水域を可視化したものを体験。実際の地域での災害リスクを地形等と照らし合わせながら体験することができ、そこから生じる災害リスクや対処の仕方を大阪市立大学都市防災教育研究センター 所長三田村宗樹先生に解説していただき、コミュニティ防災の必要性を感じました。



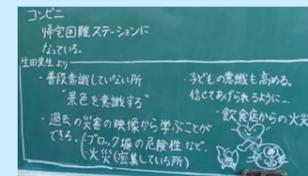
きたなかしま防災さんぽ

コミュニティ防災人材育成プログラムに参加した北中島小学校のPTAの方が、子ども達や保護者に「防災と安心・安全について学んでほしい」と『きたなかしま防災さんぽ』を企画しました。

子どもたちの防災意識向上のため、地域の防災資源や危ない場所を記したスタンプラリーも作成!

11月の試し歩きには大阪市立大学の生田准教授も参加され、今後活動が続けていくためのアドバイスをしてくださいました。まち歩き後の意見交換会では、一緒に歩いてくれた子どもたちからも、いろいろな意見を聞くことができました。

この活動は、今後も子どもたちの安心安全を守るため、PTAを中心に段階的に進める予定です。



活発な意見交換がおこなわれました



防災さんぽの様子

地域での取り組み

地域で行われた取り組みを紹介するコーナーです。

■三津屋小学校の工場見学

12月13日(月)三津屋小学校4年生が株式会社ゴール(鍵と錠の専門メーカー)で工場見学を実施。大人でも面白く興味深い作業内容を、児童が夢中になって見入る姿が印象的でした。一方、企業側もわかりやすさとコロナ対策の両方を工夫。『キョロキョロする』見て学ぶ、『ワクワクする』必ず楽しむ、そして見聞きしたことを周りの人に伝えてください。」説明の方の言葉に、児童が地域と企業をつなぐ架け橋となり、企業見学が地域内の結束力を高めるツールにもなる可能性を感じました。



組立てから梱包までボードを使っての説明に児童は興味津々

■十三地活協ホームページのご紹介

十三地活協のHPでは様々な地域行事の案内や報告だけでなく、各町会の名所やハザードマップ、そして日頃から災害に備える情報など地域に役立つ情報が満載です。また、子ども達に分かりやすいひらがなバージョンもあります。ぜひチェックしてみてください!



←全戸配布した地域MAPには津波避難ビルや掲示板の表記も。

★十三地活協ホームページ

<https://www.jusochikatsu.net/>
★児童・生徒用はこちら
<https://www.jusochikatsu.net/children/>